

ケアホームさくら荘 家庭のめくもいそのままに..



飛桜祭

おいしいものを...

どんな願い事を叶えてもらおうかしら？

GET

今年の「飛桜祭」は「ケアタウン飛鳥」「さくら荘」合同での開催となりました。さくら荘の利用者の皆様は、夕方から「ケアタウン飛鳥」へ移動していただき、「少し疲れたかな〜？」と心配していましたが、いざ祭りが始まるとテンションも上がり、「射的」や「ヨーヨー釣り」など、とても楽しんでおられました。皆さん一番いい笑顔をされていたのは、やはり「景品」をGETした時でした。

社長による職員紹介

今回はH29,3入社、2年目のケアホームさくら荘の介護職、松原武さんの紹介です。ご自分の祖母が入所していた施設職員さんの姿や他の利用者様の喜ぶ姿を見て自分も関わってみたいと思い介護の世界へ飛び込んだ。介護職としては10年のキャリアを持つ。そんな松原さんのポリシーは常に相手の気持ちになって取り組み、自分を認めて頂いたときにやりがいを感じるという。少し天然キャラで控えめな松原さん、実は料理がすごく得意で特にシフォンケーキには自信があるという。実際に食べたことがあるが、かなりの腕前である。そして休日はミスチルやB'z、ドリカムなどのライブに行きファン同士で各地の観光をしたりして活力チャージすることで仕事を頑張れるという。噂では「松原会」という6名で構成された食事がメインの会もあるらしく、意外な一面を持つ。今後、仕事では細かなところまで気配りができるように成長したいし、プライベートではたくさんの人と出会い、何事にも挑戦し、いろんな発見をしたいと語ってくれた。仕事もプライベートも充実できるように期待しています！！

松原 武さん



社是「利他の心」



2018年
10月号

家族懇談会について

今年のプログラムについて、下記の通りになっております。

平成30年11月10日（土曜日） 18時30分～19時30分

1. 開会、挨拶（代表取締役 池田 豪）
各事業所センター長 挨拶
2. アンケートの報告（池田施設長）
3. 事故報告（佐野センター長）
4. 年間行事報告書
5. 大人の学校 導入予定の介護レク 事業説明
6. 閉会、あいさつ（松田施設長）

※今年も10月初めに請求書と一緒にアンケートを送らせていただきます。よりよい運営を行うためにもご協力のほどお願い致します。また、皆様のご参加をお待ちしております。

夏祭り実行員会より報告です。

お忙しい中、また、お暑い中にも関わらず、お越しいただいたご家族の皆様、本当にありがとうございました。椅子が足りなかったり、やぐらがあつてステージが見えづらかったりとお迷惑をかけた部分も多かったと思います。また、今年は、新たな試みを行いどうなるかと思いましたが天気にも恵まれ楽しい時間を過ごしてもらえたのではないかと考えています。今後も、本人・ご家族が楽しめるような色々な行事を開催していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

有限会社 聖

住宅型有料老人ホーム ケアタウン飛鳥
住宅型有料老人ホーム ケアホームさくら荘
デイサービス陽だまり (通所介護)
訪問看護ステーション翔 (訪問看護)
ケアサポートセンターひじり (居宅介護)
ケアセンターさくら (訪問介護)

ケアセンターさくら便り

朝夕の空気が心地よくなってきましたね。すでにインフルエンザが流行している地域もあるようです。ご家族の皆さんも予防接種を受ける機会を設けてくださいね。
新入社員の紹介が遅れました。さくら荘勤務、戸高 竜之介さんが3ヶ月を過ぎました。湊 庸治さん、福永 薫さんが1ヵ月になります。ケアタウン飛鳥勤務、馬原 佳子さん、吉村 安子さんが1ヵ月になります。リーダーや夜勤も始まっている方もいます。よろしくお願い致します。

お洒落なシティ感覚 ケアタウン飛鳥

飛桜祭

～昭和レトロへようこそ～



天気にも恵まれた9月15日、中央に祭り櫓が設けられ、飛桜祭が開催されました。舞台上では、聖座の太鼓、民謡、パフォーマンス等が繰り広げられ、模擬店コーナーには「ヨーヨー」「射的」「輪投げ」「くじ引き」と、昭和に思いを馳せ楽しまれた様子です。

そして締めくくりは ……

恒例の 『 打ち上げ花火 』

訪問看護ステーション翔からのお知らせ

もう10月あつという間に秋ですね。秋といえば「紅葉、食欲、読書、芸術の秋」と言われますが、今回は食欲の秋について…秋に美味しい食べ物サツマイモ、サンマ、キノコ、栗など今が旬だからこそ最も美味しい時期ですね。秋には冬に備えて脂肪の多い木の実や魚が旬を迎え、夏に弱った胃腸の調子を整えてくれるやさしい作用の野菜がおいしくなります。秋を過ぎると冬…インフルエンザや胃腸炎の流行シーズンです。冬を健康に過ごせるためにも、食欲の秋に栄養を蓄えて、冬に備えるのも良いですね。

陽だまり学校開校



おやつ作り



ケアサポートセンターひじりからの介護保険便り

高齢の家族に運転免許の返納を勧めている方もいると思います。子供の説得を聞き流していたある高齢者は、突然自宅を訪ねてきた警察官に返納を勧められました。警察官は「一旦停止を無視した車の目撃通報があり、ナンバーを調べたら貴方の車でした」と優しく話されました。高齢者は「その道を走った記憶はあるが、違反をした覚えはない」と言いました。しかし、もし事故になっていたら怖くなり、決心。警察署での返納手続きは10分もかからず、寂しかったけど「さっぱりした」そうです。今はバスやタクシーに乗り、初めて買った携帯電話を使いながら「免許返納後の生活」を試行錯誤中とのこと。これは私の父の話ですが、家族・地域の方・警察の力を借りながら免許返納される高齢者はこれからも増えていくでしょう。ケアマネジャーも、引きこもり高齢者にさせないためにできる事を考えていきます。